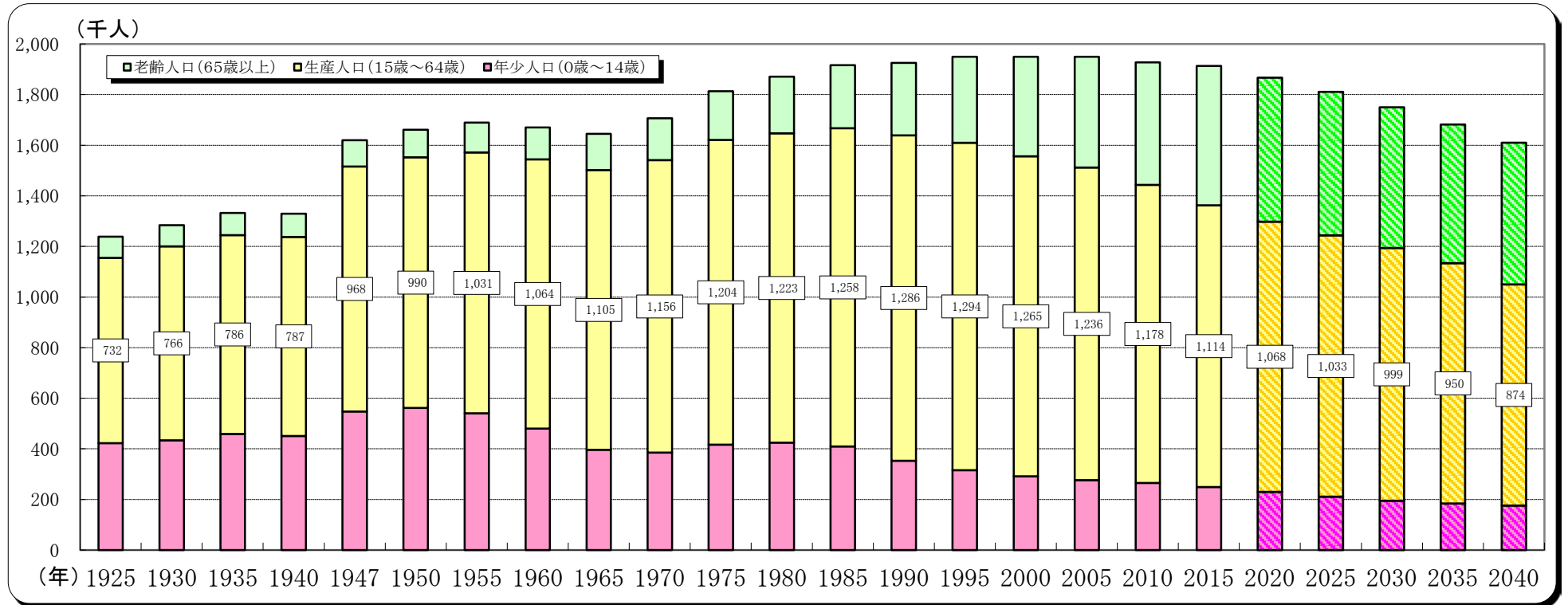


9 その他の参考資料(労働費用等)

年齢（3区分）別人口の推移及び将来推計（岡山）



(単位:千人)

区 分	1925	1930	1935	1940	1947	1950	1955	1960	1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040
年少人口(0歳～14歳)	423	434	459	451	548	562	540	480	397	385	417	424	409	353	316	291	276	265	249	230	211	195	184	176
生産人口(15歳～64歳)	732	766	786	787	968	990	1,031	1,064	1,105	1,156	1,204	1,223	1,258	1,286	1,294	1,265	1,236	1,178	1,114	1,068	1,033	999	950	874
高齢人口(65歳以上)	83	84	88	91	104	109	118	126	143	166	193	223	250	286	339	394	438	485	550	569	567	556	548	560

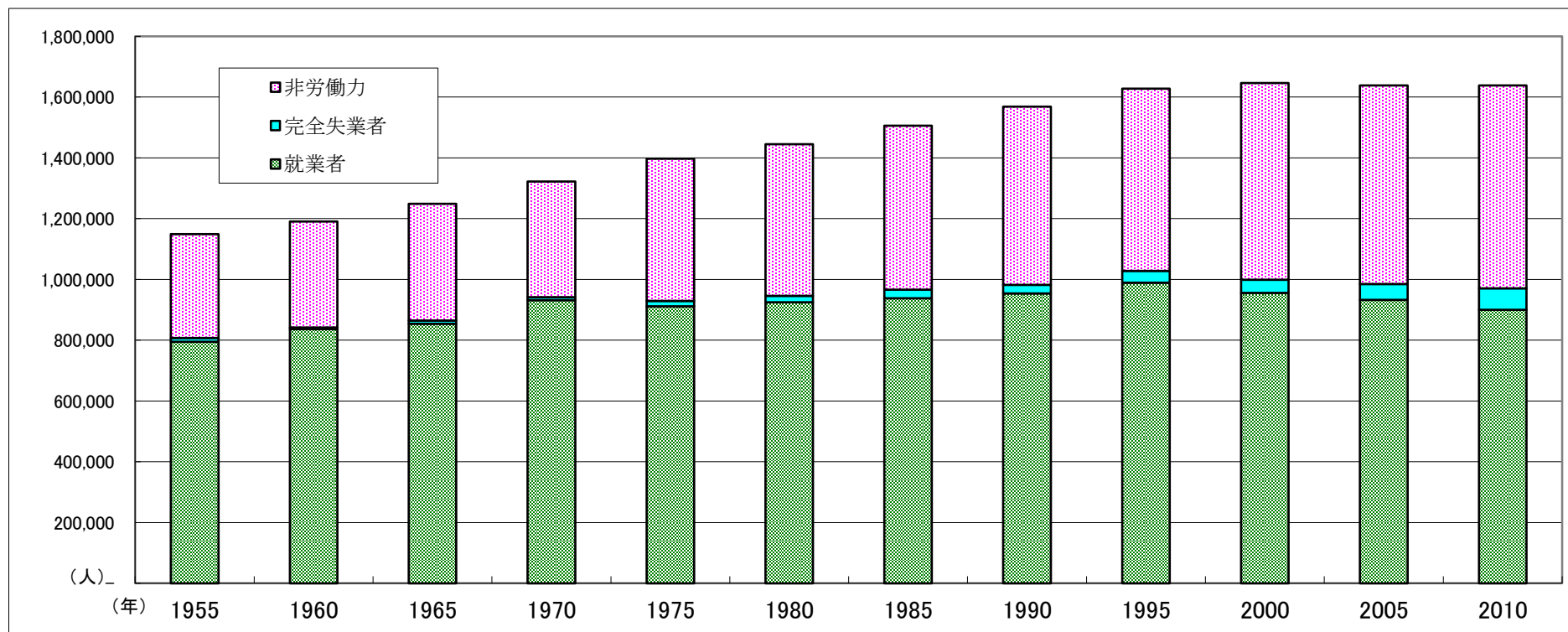
(注) 1. 2010年までは、日本帝国統計及び国勢調査による都道府県別人口等基本集計。国勢調査は、5年毎に実施されている。

2. 2015年以降は、国勢調査結果に基づき、2013年3月推計による都道府県別将来推計人口。

資料出所：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「将来人口推計」

労働力状態（3区分）別15歳以上人口の推移（岡山）

資料 No. 53



(単位:人)

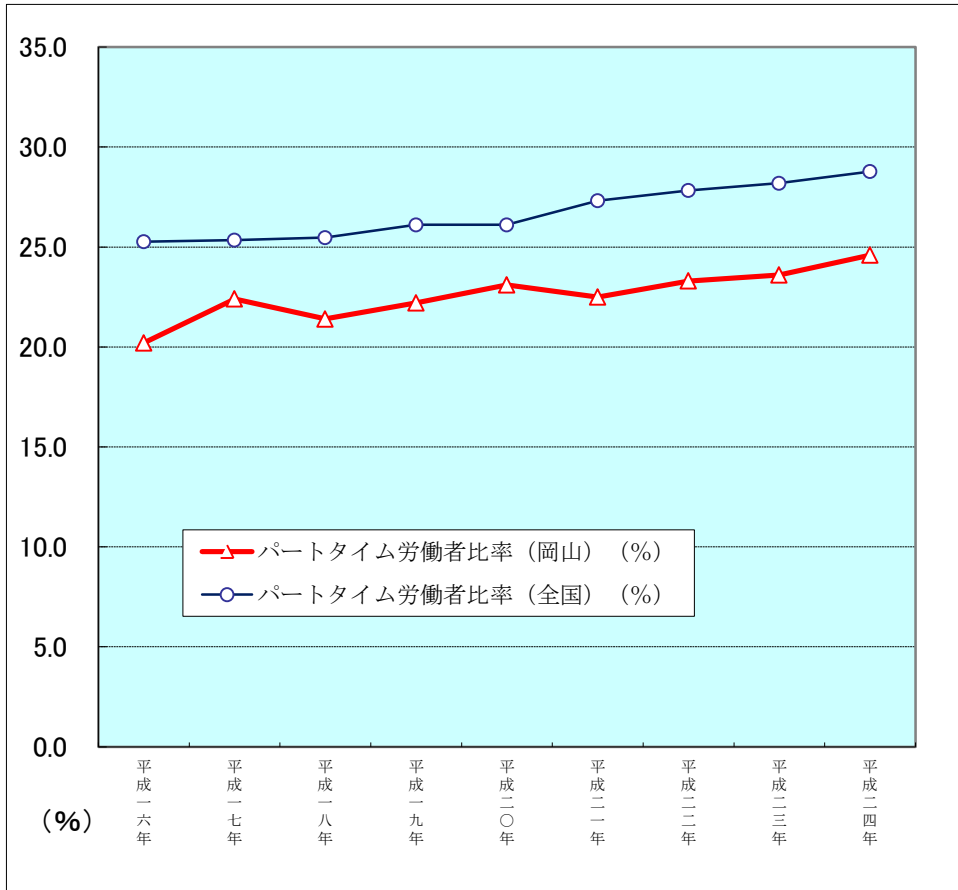
	1955	1960	1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010
総数	1,149,383	1,190,313	1,248,556	1,322,059	1,397,142	1,446,541	1,507,413	1,571,985	1,633,552	1,658,780	1,674,372	1,663,211
労働力	807,461	841,407	864,277	941,711	928,806	946,002	966,388	982,239	1,027,927	998,781	984,524	970,386
就業者	795,257	836,523	853,806	932,052	911,239	924,525	937,529	953,445	989,559	955,507	932,588	900,116
完全失業者	12,204	4,884	10,471	9,659	17,567	21,477	28,859	28,794	38,368	43,274	51,936	70,270
非労働力	341,921	348,712	384,113	380,326	468,336	498,524	538,993	586,502	599,261	647,191	653,905	667,942
労働力率(総数)(%)	70.3	70.7	69.2	71.2	66.5	65.5	64.2	62.6	63.2	60.7	60.1	58.3
労働力率(男)(%)	85.6	84.6	82.8	85.0	83.6	82.0	80.2	77.8	78.2	74.4	73.4	76.7
労働力率(女)(%)	56.6	58.6	57.5	59.0	51.0	50.5	49.8	49.0	49.6	48.4	48.3	49.9

(注) 1950年総数は14歳以上、その他は15歳以上人口。

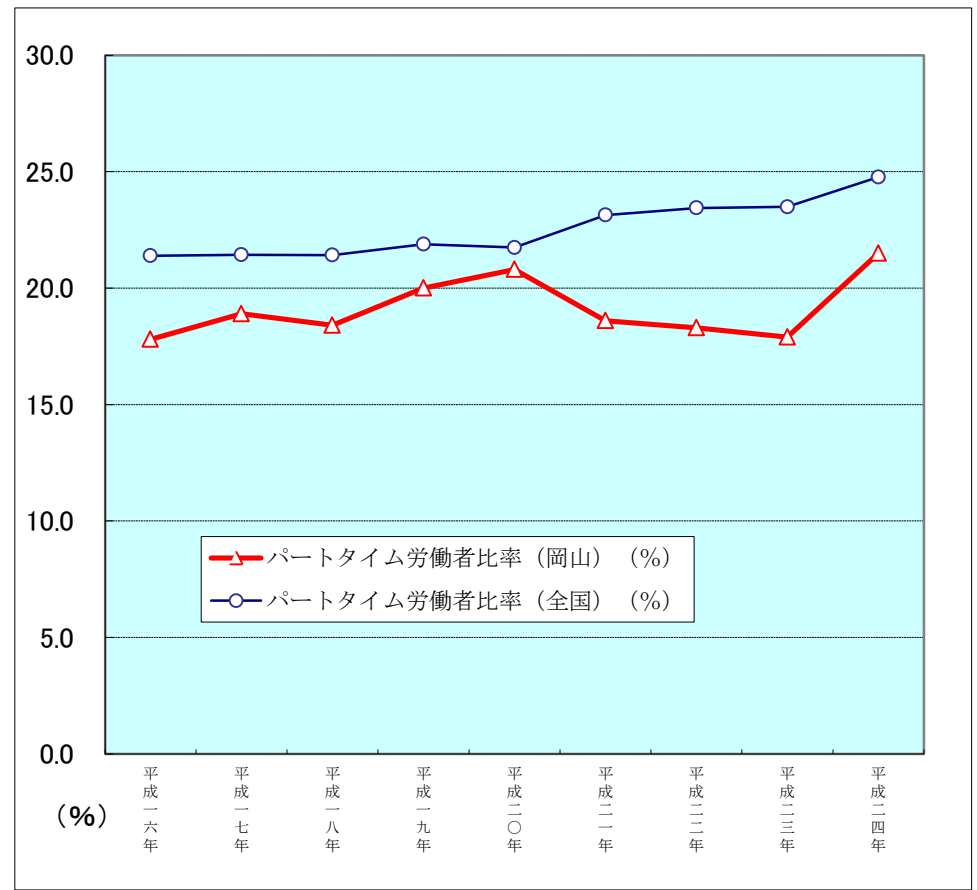
労働力率は、15歳以上人口に占める労働力人口の割合を算出。(労働力状態「不詳」を除く。)

資料出所:総務省統計局「国勢調査」(産業等基本集計:都道府県結果)2012年3月公表

パートタイム労働者比率の推移（5人以上）（岡山）



パートタイム労働者比率の推移（30人以上）（岡山）



	平成一六年	平成一七年	平成一八年	平成一九年	平成二〇年	平成二一年	平成二二年	平成二三年	平成二四年
パートタイム労働者比率(岡山) (%)	20.2	22.4	21.4	22.2	23.1	22.5	23.3	23.6	24.6
パートタイム労働者比率(全国) (%)	25.27	25.34	25.47	26.11	26.11	27.32	27.83	28.19	28.77

資料出所： 厚生労働省 「毎月勤労統計調査結果」

	平成一六年	平成一七年	平成一八年	平成一九年	平成二〇年	平成二一年	平成二二年	平成二三年	平成二四年
パートタイム労働者比率(岡山) (%)	17.8	18.9	18.4	20.0	20.8	18.6	18.3	17.9	21.5
パートタイム労働者比率(全国) (%)	21.39	21.43	21.42	21.89	21.74	23.14	23.44	23.49	24.77

資料出所： 厚生労働省 「毎月勤労統計調査結果」

労働費用の内訳別常用労働者1人1か月平均労働費用（全国）

（単位：円）

資料 No. 55 (1)

企業規模・産業	労働費用 総額	現金給与 総額	現金給与 以外の 労働費用		法定 福利費	法定外 福利費	現物給与 の費用	退職金等 の費用	教 育 訓 練 費	募 集 費	その他の 労働費用	
			毎月きま って 支給する 給与	賞与・ 期末手当								
< 年 別 >												
昭 和 6 3 年	398,115	333,638	252,967	80,672	64,476	31,330	11,048	1,870	16,534	1,521	1,170	1,004
平 成 3 年	459,986	382,564	280,851	96,713	77,422	38,771	13,340	2,190	18,453	1,670	1,976	1,023
平 成 7 年	483,009	400,649	305,801	94,847	82,360	42,860	13,682	2,207	20,565	1,305	742	999
平 成 1 0 年	502,004	409,485	315,544	93,941	92,519	46,868	13,481	1,683	27,300	1,464	802	922
平 成 1 4 年	449,699	367,453	293,889	73,564	82,245	41,937	10,312	1,266	25,862	1,256	860	754
平 成 1 8 年	462,329	374,591	301,478	73,113	87,738	46,456	9,555	989	27,517	1,541	994	685
平 成 2 3 年	414,428	337,849	278,575	59,274	76,579	44,770	8,316	595	20,813	1,038	549	497
<平成23年企業規模別>												
1,000人以上	477,136	379,854	298,484	81,370	97,282	49,130	13,042	855	31,509	1,469	581	696
100～999人	395,025	324,465	270,465	54,000	70,561	43,648	6,279	543	18,149	856	599	487
300～999人	411,721	335,680	274,900	60,780	76,041	44,000	7,017	661	22,034	984	717	630
100～299人	379,210	313,841	266,264	47,577	65,369	43,315	5,579	431	14,469	736	488	351
30～99人	350,911	296,013	261,991	34,022	54,898	39,939	4,587	279	8,795	691	404	202
<平成23年産業別>												
鉱業、採石業、砂利採取業	561,152	450,362	354,345	96,017	110,790	67,491	13,694	255	24,596	2,461	445	1,849
建設業	532,434	431,749	358,316	73,433	100,685	60,794	9,073	1,093	27,153	1,596	471	505
製造業	490,240	390,739	310,535	80,204	99,501	54,525	11,640	592	30,569	1,183	374	616
電気・ガス・熱供給・水道業	795,852	605,126	462,133	142,993	190,727	86,559	31,767	1,013	61,911	7,533	438	1,506
情報通信業	568,972	470,510	378,297	92,213	98,463	58,804	10,189	341	25,196	2,156	876	901
運輸業、郵便業	419,336	339,711	285,375	54,336	79,625	45,134	11,252	340	21,491	684	360	364
卸売業、小売業	341,536	282,176	237,636	44,540	59,360	36,976	5,472	380	14,568	841	687	435
金融業、保険業	682,706	527,129	404,533	122,596	155,577	67,957	14,620	3,549	66,579	1,059	802	1,011
不動産業、物品賃貸業	386,856	324,814	266,569	58,245	62,042	42,211	5,730	647	11,003	976	666	808
学術研究、専門・技術サービス業	642,738	538,856	446,340	92,516	103,882	59,662	11,026	967	28,921	1,811	983	512
宿泊業、飲食サービス業	196,767	170,893	158,791	12,103	25,874	18,657	3,721	288	2,288	267	451	201
生活関連サービス業、娯楽業	247,895	214,204	193,493	20,710	33,691	24,799	4,543	129	2,371	804	863	183
教育、学習支援業	290,274	247,128	213,634	33,494	43,146	29,987	4,222	225	6,693	495	1,282	242
医療、福祉	245,842	207,752	185,506	22,246	38,091	28,144	1,947	54	6,906	341	470	228
サービス業 (他に分類されないもの)	275,221	235,670	207,881	27,789	39,551	29,641	2,893	763	4,923	571	503	257

- (注) 1. 本項目については、毎年調査を行っていない。
 2. 平成19年以前は、調査対象を「本社の常用労働者が30人以上の民間企業」としており、平成20年から「常用労働者が30人以上の民間企業」に範囲を拡大した。
 3. 「その他の労働費用」とは、転勤に際し企業が負担した費用（旅費、宿泊料等）、社内報、作業服（業務遂行上特に必要と認められている制服等を除く。）、表彰の費用等をいう。

資料出所：厚生労働省「就労条件総合調査報告」（平成11年以前は旧労働省「賃金労働時間制度等総合調査報告」）

労働費用の内訳別常用労働者1人1か月平均労働費用の構成比（全国）

（単位：％）

資料 No. 5 5 (2)

企業規模・産業	労働費用 総額	現金給与 総額	現金給与 以外の 労働費用		法定 福利費	法定外 福利費	現物給与 の費用	退職金等 の費用	教育 訓練費	募集費	その他の 労働費用	
			毎月きまって 支給する給与	賞与・ 期末手当								
<年 別>												
昭和 6 3 年	100.0	83.8	63.5	20.3	16.2	7.9	2.8	0.5	4.2	0.4	0.3	0.3
平成 3 年	100.0	83.2	62.1	21.0	16.8	8.4	2.9	0.5	4.0	0.4	0.4	0.2
平成 7 年	100.0	82.9	63.3	19.6	17.1	8.9	2.8	0.5	4.3	0.3	0.2	0.2
平成 1 0 年	100.0	81.6	62.9	18.7	18.4	9.3	2.7	0.3	5.4	0.3	0.2	0.2
平成 1 4 年	100.0	81.7	65.4	16.4	18.3	9.3	2.3	0.3	5.8	0.3	0.2	0.2
平成 1 8 年	100.0	81.0	65.2	15.8	19.0	10.0	2.1	0.2	6.0	0.3	0.2	0.1
平成 2 3 年調査産業計	100.0	81.5	67.2	14.3	18.5	10.8	2.0	0.1	5.0	0.3	0.1	0.1
<平成 2 3 年企業規模別>												
1, 0 0 0 人以上	100.0	79.6	62.6	17.1	20.4	10.3	2.7	0.2	6.6	0.3	0.1	0.1
1 0 0 ~ 9 9 9 人	100.0	82.1	68.5	13.7	17.9	11.0	1.6	0.1	4.6	0.2	0.2	0.1
3 0 0 ~ 9 9 9 人	100.0	81.5	66.8	14.8	18.5	10.7	1.7	0.2	5.4	0.2	0.2	0.2
1 0 0 ~ 2 9 9 人	100.0	82.8	70.2	12.5	17.2	11.4	1.5	0.1	3.8	0.2	0.1	0.1
3 0 ~ 9 9 人	100.0	84.4	74.7	9.7	15.6	11.4	1.3	0.1	2.5	0.2	0.1	0.1
<平成 2 3 年産業別>												
鉱業、採石業、砂利採取業	100.0	80.3	63.1	17.1	19.7	12.0	2.4	0.0	4.4	0.4	0.1	0.3
建設業	100.0	81.1	67.3	13.8	18.9	11.4	1.7	0.2	5.1	0.3	0.1	0.1
製造業	100.0	79.7	63.3	16.4	20.3	11.1	2.4	0.1	6.2	0.2	0.1	0.1
電気・ガス・熱供給・水道業	100.0	76.0	58.1	18.0	24.0	10.9	4.0	0.1	7.8	0.9	0.1	0.2
情報通信業	100.0	82.7	66.5	16.2	17.3	10.3	1.8	0.1	4.4	0.4	0.2	0.2
運輸業、郵便業	100.0	81.0	68.1	13.0	19.0	10.8	2.7	0.1	5.1	0.2	0.1	0.1
卸売業、小売業	100.0	82.6	69.6	13.0	17.4	10.8	1.6	0.1	4.3	0.2	0.2	0.1
金融業、保険業	100.0	77.2	59.3	18.0	22.8	10.0	2.1	0.5	9.8	0.2	0.1	0.1
不動産業、物品賃貸業	100.0	84.0	68.9	15.1	16.0	10.9	1.5	0.2	2.8	0.3	0.2	0.2
学術研究、専門・技術サービス業	100.0	83.8	69.4	14.4	16.2	9.3	1.7	0.2	4.5	0.3	0.2	0.1
宿泊業、飲食サービス業	100.0	86.9	80.7	6.2	13.1	9.5	1.9	0.1	1.2	0.1	0.2	0.1
生活関連サービス業、娯楽業	100.0	86.4	78.1	8.4	13.6	10.0	1.8	0.1	1.0	0.3	0.3	0.1
教育、学習支援業	100.0	85.1	73.6	11.5	14.9	10.3	1.5	0.1	2.3	0.2	0.4	0.1
医療、福祉	100.0	84.5	75.5	9.0	15.5	11.4	0.8	0.0	2.8	0.1	0.2	0.1
サービス業 (他に分類されないもの)	100.0	85.6	75.5	10.1	14.4	10.8	1.1	0.3	1.8	0.2	0.2	0.1

- (注) 1. 本項目については、毎年調査を行っていない。
 2. 平成19年以前は、調査対象を「本社の常用労働者が30人以上の民間企業」としており、平成20年から「常用労働者が30人以上の民間企業」に範囲を拡大した。
 3. 労働費用総額、現金給与以外の労働費用の計については、小数点以下の関係から、内訳項目の合計とは一対しない。
 4. 「その他の労働費用」とは、転勤に際し企業が負担した費用（旅費、宿泊料等）、社内報、作業服（業務遂行上特に必要と認められている制服等を除く。）、表彰の費用等をいう。

資料出所：厚生労働省「就労条件総合調査報告」（平成11年以前は旧労働省「賃金労働時間制度等総合調査報告」）

労働費用の推移（1人1カ月平均）（全国）

年	費用額						構成比		
	労働費用総額	対前回増減率	現金給与総額	対前回増減率	現金給与以外の労働費用	対前回増減率	労働費用総額	現金給与総額	現金給与以外の労働費用
	円	%	円	%	円	%	%	%	%
昭和 51年	218,379	10.3	187,760	9.8	30,620	13.5	100.0	86.0	14.0
52年	242,068	10.8	206,567	10.0	35,501	15.9	100.0	85.3	14.7
53年	263,754	9.0	223,084	8.0	40,370	13.7	100.0	84.6	15.3
54年	278,968	5.8	236,584	6.1	42,384	5.0	100.0	84.8	15.2
55年	294,476	5.6	250,699	6.0	43,777	3.3	100.0	85.1	14.9
56年	311,252	5.7	262,651	4.8	48,601	11.0	100.0	84.4	15.6
57年	328,476	5.5	277,164	5.5	51,312	5.6	100.0	84.4	15.6
58年	338,942	3.2	286,986	3.5	51,956	1.3	100.0	84.7	15.3
59年	351,291	3.6	298,321	3.9	52,969	1.9	100.0	84.9	15.1
60年	361,901	3.0	306,080	2.6	55,820	5.4	100.0	84.6	15.4
63年	398,115	10.0	333,638	9.0	64,476	15.5	100.0	83.8	16.2
平成 3年	459,986	15.5	382,564	14.7	77,422	20.1	100.0	83.2	16.8
7年	483,009	5.0	400,649	4.7	82,360	6.4	100.0	82.9	17.1
10年	502,004	3.9	409,485	2.2	92,519	12.3	100.0	81.6	18.4
14年	449,699	- 10.4	367,453	- 10.3	82,245	- 11.1	100.0	81.7	18.3
18年	462,329	2.8	374,591	1.9	87,738	6.7	100.0	81.0	19.0
23※年	434,083	- 6.1	352,018	- 6.0	82,065	- 6.5	100.0	81.1	18.9

- (注) 1. 対前回増減率は、小数点以下四捨五入で算出。
2. 本項目については、毎年の調査は行っていない。
3. 平成11年以前は12月末現在、平成13年から1月1日現在で調査。23※年は、19年以前と、時系列で比較するため、「本社の常用労働者が30人以上の民間企業」で集計。

資料出所：厚生労働省「就労条件総合調査報告」
（平成11年以前は旧労働省「賃金労働時間制度等総合調査報告」）

産業別にみた各種手当の種類別支給企業数割合（全国）

（企業数割合・規模30人以上・平成21年11月分）

（単位：％）

資料 No. 57

産 業	手当の名称	業績手当など		勤務手当				精皆勤手当、出勤手当など	通勤手当など	生活手当					調整手当など	その他諸手当	
		個人別	部門・グループ別	役付手当など	特殊作業手当など	特殊勤務手当など	技能手当、技術（資格）手当など			家族手当、扶養手当、育児支援手当など	地域手当、勤務地手当など	住宅手当など	単身赴任手当、別居手当など	寒冷地手当、食事手当など			
<年 別>																	
平成2年	100.0	19.8	7.3	89.4	12.4	24.6	44.5	56.3	87.9	78.9	15.1	45.5	9.1	21.2	23.9	30.1	
平成8年	100.0	15.6	3.6	86.7	14.8	22.9	49.7	53.5	89.9	79.8	15.0	47.8	13.5	22.0	27.8	24.4	
平成11年	100.0	16.4	3.0	85.2	12.9	20.1	49.4	43.0	86.6	77.3	15.6	49.2	13.8	20.9	28.8	29.1	
平成17年	100.0	17.0		83.8	13.1	24.1	49.8	37.9	91.3	71.1	13.6	44.8	16.1	18.2	26.1	13.8	
平成22年	100.0	15.0		82.2	10.3	20.1	46.9	34.1	91.6	65.9	12.7	41.2	15.8	15.5	29.7	9.1	
<平成22年企業規模別>																	
1,000人以上	100.0	14.1		75.7	21.3	43.9	44.5	13.5	93.8	74.5	35.7	56.8	72.1	31.3	48.6	12.2	
100～999人	100.0	15.3		82.8	13.3	29.9	46.7	26.6	93.1	73.2	21.3	50.4	33.5	20.8	38.3	10.9	
300～999人	100.0	15.6		82.8	15.1	34.2	46.8	18.0	94.9	75.2	29.3	54.4	54.2	26.9	44.1	11.5	
100～299人	100.0	15.2		82.7	12.8	28.6	46.7	29.2	92.5	72.6	18.8	49.2	27.3	19.0	36.5	10.7	
30～99人	100.0	14.9		82.2	8.9	15.8	47.1	37.4	91.0	62.9	8.9	37.3	7.6	13.1	26.0	8.4	
<平成22年産業別>																	
鉱業、採石業、砂利採取業	100.0	11.6		89.0	29.5	31.2	58.7	29.7	89.5	68.0	18.0	38.5	18.0	20.2	23.5	6.6	
建設業	100.0	12.6		79.8	19.5	14.9	73.9	24.9	87.1	66.6	14.2	41.0	17.6	11.2	24.0	9.0	
製造業	100.0	6.1		89.8	14.4	30.1	45.4	43.8	96.1	76.4	15.2	43.9	19.1	19.1	26.8	8.7	
電気・ガス・熱供給・水道業	100.0	6.9		85.5	20.3	48.9	56.3	12.9	95.5	91.3	16.4	59.4	26.4	25.5	25.7	8.7	
情報通信業	100.0	8.6		76.2	3.7	22.2	41.2	11.9	95.1	73.3	27.6	63.9	23.8	15.8	31.8	11.8	
運輸業、郵便業	100.0	28.0		76.5	19.2	19.1	43.4	54.7	84.5	56.8	7.0	26.7	5.9	9.1	27.0	10.0	
卸売業、小売業	100.0	23.4		83.0	5.0	15.3	41.5	28.2	89.2	69.3	14.6	43.7	18.9	17.4	37.7	8.4	
金融業、保険業	100.0	21.1		62.7	3.9	19.0	26.6	2.9	96.5	55.0	19.3	49.2	36.7	22.6	27.8	10.6	
不動産業、物品賃貸業	100.0	19.1		84.9	8.3	13.7	40.8	19.9	89.9	59.0	9.5	42.3	17.2	19.7	31.2	17.5	
学術研究、専門・技術サービス業	100.0	10.6		73.0	4.2	7.5	50.0	12.3	93.5	61.2	17.1	52.0	22.2	17.1	30.1	8.8	
宿泊業、飲食サービス業	100.0	9.6		74.4	1.5	15.7	34.5	28.7	91.4	53.4	4.6	31.9	4.8	17.2	26.8	7.5	
生活関連サービス業、娯楽業	100.0	19.5		82.1	4.1	17.3	36.5	43.4	91.4	52.7	5.4	39.0	4.1	14.1	25.1	9.1	
教育、学習支援業	100.0	16.2		84.2	2.0	5.0	48.8	25.1	90.8	58.3	4.4	33.1	6.4	9.8	22.9	8.9	
医療、福祉	100.0	8.7		81.0	3.4	19.9	74.8	27.6	90.3	35.6	3.6	31.8	2.6	3.8	24.8	8.1	
サービス業 （他に分類されないもの）	100.0	15.7		73.9	11.1	16.6	60.9	29.6	93.4	49.6	6.2	33.6	13.5	7.7	31.2	9.8	

（注） 1. 調査対象全企業を100とした割合である。
 2. 本項目については、毎年調査を行っていない。
 3. 平成19年以前は、調査対象を「本社の常用労働者が30人以上の民間企業」としており、平成20年から「常用労働者が30人以上の民間企業」に範囲を拡大した。

資料出所：厚生労働省「就労条件総合調査報告」（平成11年以前は旧労働省「賃金労働時間制度等総合調査報告」）

過去3年間の賃金制度の改定の有無、改定項目別企業数割合（全国）

（単位：%）

資料 No. 58

年・企業規模・産業	全企業	改定を行った企業	改定項目（複数回答）										改定を行わなかった企業	
			職務・職種などの仕事の内容に対応する賃金部分の拡大	職務遂行能力に対応する賃金部分の拡大	業績・成果に対応する賃金部分の拡大	手当を縮減し基本給へ組入れ	退職給付を縮減し基本給へ組入れ	基本給の抑制、賞与を相対的に拡大	賃金表の導入	職能資格制度の改定・導入	年俸制の改定・導入	定期昇格の廃止		
<年別>														
平成16年	100.0	38.4	15.5	17.6	20.7	9.8	-	2.4	5.6	10.1	6.1	-	61.6	
平成19年	100.0	46.3	23.3	22.1	23.7	9.1	1.1	6.0	7.7	11.0	4.0	7.1	53.7	
平成22年	100.0	34.6	17.5	16.9	15.0	5.5	0.4	3.1	5.2	6.9	3.0	4.6	65.4	
<平成22年企業規模別>														
1,000人以上	100.0	37.0	18.8	14.6	15.4	8.0	0.4	2.1	6.5	12.7	4.8	2.5	63.0	
100～999人	100.0	35.4	16.5	15.3	15.5	7.6	0.7	3.0	6.6	10.7	4.0	3.4	64.6	
300～999人	100.0	35.1	14.9	14.6	13.5	7.4	0.7	1.3	8.5	11.2	4.0	3.0	64.9	
100～299人	100.0	35.5	17.0	15.5	16.0	7.7	0.7	3.5	6.0	10.5	3.9	3.5	64.5	
30～99人	100.0	34.3	17.8	17.5	14.8	4.7	0.3	3.1	4.7	5.4	2.5	5.1	65.7	
<平成22年産業別>														
鉱業、採石業、砂利採取業	100.0	32.7	9.2	15.9	9.4	11.6	-	2.2	6.5	5.1	-	5.4	67.3	
建設業	100.0	37.4	18.8	19.5	16.6	8.2	1.1	2.4	6.0	8.0	2.6	4.2	62.6	
製造業	100.0	31.2	14.7	16.2	13.9	4.8	0.1	2.9	3.1	5.0	2.2	5.1	68.8	
電気・ガス・熱供給・水道業	100.0	31.4	11.5	8.9	10.6	3.7	-	1.2	6.0	15.9	2.7	1.1	68.6	
情報通信業	100.0	39.2	21.8	22.5	23.2	4.1	-	2.9	10.3	14.4	3.6	5.2	60.8	
運輸業、郵便業	100.0	34.4	14.6	12.2	12.0	7.8	0.4	2.5	4.8	6.7	3.0	5.1	65.6	
卸売業、小売業	100.0	31.0	14.1	13.3	15.5	3.8	0.1	3.7	5.2	5.8	2.6	4.6	69.0	
金融業、保険業	100.0	31.5	17.4	12.5	15.4	6.1	-	0.7	2.5	11.3	6.9	2.1	68.5	
不動産業、物品賃貸業	100.0	43.7	25.4	18.7	21.7	11.3	1.3	4.1	9.5	8.7	2.6	3.9	56.3	
学術研究、専門・技術サービス業	100.0	33.4	18.0	21.7	13.7	9.6	0.2	1.7	5.2	8.0	7.3	3.2	66.6	
宿泊業、飲食サービス業	100.0	37.0	18.2	19.1	9.6	6.0	0.0	1.8	3.6	6.2	2.9	3.5	63.0	
生活関連サービス業、娯楽業	100.0	37.4	17.9	16.6	16.1	4.1	0.9	6.6	8.8	6.1	1.9	5.8	62.6	
教育、学習支援業	100.0	40.0	23.3	17.7	22.6	5.0	0.7	2.9	3.7	9.6	2.0	2.7	60.0	
医療、福祉	100.0	64.0	43.8	34.0	20.2	8.3	-	7.5	12.1	20.4	4.7	0.7	36.0	
サービス業（他に分類されないもの）	100.0	41.0	28.0	23.3	14.3	5.2	1.4	1.5	6.6	8.6	5.7	4.2	59.0	

- (注) 1. 本調査は、毎年調査を行っていない。
 2. 平成16年調査は、「退職給付を縮減し基本給へ組入れ」、「定額昇給の廃止」について調査していない。

資料出所：厚生労働省「就労条件総合調査報告」

年俸制の導入状況別企業数割合（全国）

（単位：%）

年・企業規模・年	全企業	年俸制を導入している企業	年俸制を導入していない企業	年俸制を導入している企業			適用労働者数割合
				導入を予定している	導入を検討している	導入予定はなく検討もしていない	
平成6年	100.0	4.3	95.7	(3.7)		(96.3)	6.3
平成14年	100.0	11.7	88.3	(0.8)	(10.0)	(77.5)	14.0
平成18年	100.0	17.3	82.7	(0.5)	(7.4)	(74.9)	17.3
平成24年	100.0	13.3	86.7	(0.7)	(6.3)	(79.7)	16.8
＜平成24年 企業規模別＞							
1,000人以上	100.0	32.6	67.4	(0.4)	(3.5)	(63.5)	13.7
100～999人	100.0	19.8	80.2	(0.8)	(5.0)	(74.3)	15.3
300～999人	100.0	24.5	75.5	(0.3)	(4.8)	(70.4)	13.3
100～299人	100.0	18.4	81.6	(1.0)	(5.1)	(75.6)	17.9
30～99人	100.0	10.4	89.6	(0.6)	(6.8)	(82.1)	32.8
＜平成24年 産業別＞							
鉱業，採石業，砂利採取業	100.0	6.4	93.6	-	(2.2)	(91.4)	7.5
建設業	100.0	13.1	86.9	-	(4.5)	(82.5)	16.2
製造業	100.0	12.2	87.8	(0.2)	(5.6)	(82.0)	15.3
電気・ガス・熱供給・水道業	100.0	19.4	80.6	-	(1.2)	(79.5)	13.8
情報通信業	100.0	33.7	66.3	(0.4)	(13.6)	(52.3)	28.9
運輸業，郵便業	100.0	7.7	92.3	(0.4)	(5.7)	(86.3)	10.8
卸売業，小売業	100.0	15.3	84.7	(1.3)	(5.2)	(78.2)	16.8
金融業，保険業	100.0	25.3	74.7	(1.4)	(3.6)	(69.6)	10.2
不動産業，物品賃貸業	100.0	13.1	86.9	(0.9)	(6.0)	(80.0)	14.3
学術研究，専門・技術サービス業	100.0	30.9	69.1	(1.1)	(7.4)	(60.5)	31.6
宿泊業，飲食サービス業	100.0	6.4	93.6	-	(5.2)	(88.4)	17.4
生活関連サービス業，娯楽業	100.0	10.9	89.1	-	(8.0)	(81.1)	19.5
教育，学習支援業	100.0	14.2	85.8	(1.2)	(10.8)	(73.7)	19.5
医療，福祉	100.0	15.8	84.2	(1.5)	(10.8)	(72.0)	20.9
サービス業（他に分類されないもの）	100.0	8.7	91.3	(2.0)	(8.1)	(81.2)	12.1

（注）本項目については、毎年調査を行っていない

資料出所：厚生労働省「就労条件総合調査報告」

業績評価制度の評価状況別企業数割合（全国）

（単位：%）

年・企業規模・産業	業績評価制度を導入している企業		評価状況					
			うまく いっている	うまく いっているが一部 手直しが必要	改善すべ き点がか なりある	うまく いって いない	はつきり わから ない	
平成19年	[45.6]	100.0	20.0	49.0	24.0	0.6	6.4	
平成22年	[45.1]	100.0	23.0	42.2	23.6	3.1	8.1	
平成24年	[36.3]	100.0	24.8	46.0	20.5	1.3	7.3	
＜平成24年 企業規模別＞								
1,000人以上	[70.1]	100.0	25.4	50.7	15.4	0.6	7.7	
100～999人	[51.1]	100.0	22.6	45.8	23.0	0.8	7.7	
300～999人	[63.8]	100.0	20.2	53.1	20.4	0.9	5.4	
100～299人	[47.2]	100.0	23.6	42.7	24.1	0.8	8.6	
30～99人	[29.9]	100.0	26.1	45.8	19.3	1.7	7.1	
＜平成24年 産業別＞								
鉱業，採石業，砂利採取業	[25.9]	100.0	11.3	68.9	8.4	-	8.4	
建設業	[34.8]	100.0	21.8	50.3	16.7	7.5	3.7	
製造業	[37.9]	100.0	26.8	43.1	21.4	1.2	7.5	
電気・ガス・熱供給・水道業	[58.9]	100.0	45.4	35.5	15.2	2.0	2.0	
情報通信業	[55.9]	100.0	26.8	45.0	20.0	0.2	7.3	
運輸業，郵便業	[24.2]	100.0	15.9	52.1	29.9	-	2.1	
卸売業，小売業	[42.1]	100.0	23.4	48.5	20.4	1.1	6.6	
金融業，保険業	[66.6]	100.0	32.6	49.5	10.3	-	7.0	
不動産業，物品賃貸業	[48.7]	100.0	32.5	44.9	15.7	-	6.9	
学術研究，専門・技術サービス業	[45.1]	100.0	24.8	45.9	15.1	2.8	11.4	
宿泊業，飲食サービス業	[26.2]	100.0	20.2	43.7	23.0	-	13.1	
生活関連サービス業，娯楽業	[29.2]	100.0	33.4	45.1	8.5	-	12.9	
教育，学習支援業	[43.0]	100.0	34.7	40.1	13.9	-	11.3	
医療，福祉	[35.0]	100.0	22.3	53.3	20.4	-	4.0	
サービス業 （他に分類されないもの）	[25.1]	100.0	22.1	39.2	28.8	0.7	9.2	

（注）本項目については、毎年調査を行っていない

資料出所：厚生労働省「就労条件総合調査報告」

派遣労働者数受入れ状況、1か月平均派遣労働者受入れ関係費用（全国）

（単位：%）

年・企業規模・産業	全企業	派遣労働者受入れ		受入れ企業の派遣労働者割合	1企業1か月平均派遣労働者受入れ関係費用（千円）	1人1か月平均派遣労働者受入れ関係費用（円）
		あり	なし			
< 年 別 >						
平成 3 年	100.0	14.7	85.3	3.8	-	247,000
平成 7 年	100.0	15.0	85.0	5.0	-	208,585
平成 10 年	100.0	20.3	79.7	5.8	-	296,551
平成 18 年	100.0	36.7	63.3	12.4	78,826	231,697
平成 23 年	100.0	28.4	71.6	10.9	72,243	261,706
<平成23年 企業規模別>						
1,000人以上	100.0	61.5	38.5	9.5	805,365	307,359
100～999人	100.0	42.9	57.1	11.6	80,822	250,413
300～999人	100.0	51.9	48.1	11.5	145,632	243,831
100～299人	100.0	40.2	59.8	11.7	56,071	257,302
30～99人	100.0	22.2	77.8	13.4	17,477	199,877
<平成23年 産業別>						
鉱業，採石業，砂利採取業	100.0	22.2	77.8	4.2	24,239	358,839
建設業	100.0	13.4	86.6	7.6	87,319	387,431
製造業	100.0	41.3	58.7	9.4	66,810	282,483
電気・ガス・熱供給・水道業	100.0	36.0	64.0	3.0	86,668	268,950
情報通信業	100.0	38.2	61.8	18.8	249,741	370,720
運輸業，郵便業	100.0	13.9	86.1	15.6	99,762	191,003
卸売業，小売業	100.0	30.3	69.7	5.6	31,822	267,947
金融業，保険業	100.0	61.1	38.9	17.1	446,342	250,729
不動産業，物品賃貸業	100.0	33.1	66.9	16.9	31,117	95,566
学術研究，専門・技術サービス業	100.0	34.8	65.2	12.4	114,273	433,331
宿泊業，飲食サービス業	100.0	23.2	76.8	20.3	14,454	58,455
生活関連サービス業，娯楽業	100.0	18.5	81.5	20.4	26,863	94,483
教育，学習支援業	100.0	14.6	85.4	5.2	22,672	260,358
医療，福祉	100.0	11.0	89.0	8.0	41,101	217,916
サービス業（他に分類されないもの）	100.0	14.8	85.2	18.4	82,026	191,289

(注) 1. 本項目については、毎年調査を実施していない。

2. 平成19年以前は、調査対象を「本社の常用労働者が30人以上の民間企業」としており、平成20年から「常用労働者が30人以上の民間企業」に範囲を拡大した。

3. 「受入れ企業の派遣労働者数割合」とは、期間を定めずに雇われている常用労働者（パートタイム労働者を除く。）

4. 「1人1か月平均派遣労働者受入れ関係費用」とは、派遣労働者受入れに際し、派遣元企業に支払った費用を派遣労働者数で除したものである。

資料出所：厚生労働省「就労条件総合調査報告」（平成11年以前は旧労働省「賃金労働時間制度等総合調査報告」）

平成24年4月における世帯人員別標準生計費（岡山市、全国）

岡山市

(単位：円，%)

費目	世帯人員				
	1人	2人	3人	4人	5人
標準生計費(円)					
合計	110,250	155,810	176,680	197,550	218,420
食料費	21,890	30,510	38,350	46,190	54,020
住居関係費	52,040	55,320	50,840	46,360	4,180
被服・履物費	3,730	5,160	6,650	8,140	9,640
雑費Ⅰ	26,490	47,370	61,910	76,460	91,000
雑費Ⅱ	6,100	17,450	18,930	20,400	21,880
構成比(%)					
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
食料費	19.9	19.6	21.7	23.4	24.7
住居関係費	47.2	35.5	28.8	23.5	1.9
被服・履物費	3.4	3.3	3.8	4.1	4.4
雑費Ⅰ	24.0	30.4	35.0	38.7	41.7
雑費Ⅱ	5.5	11.2	10.7	10.3	10.0
生計費換算乗数					
食料費		0.501	0.629	0.758	0.886
住居関係費		0.948	0.871	0.794	0.717
被服・履物費		0.407	0.525	0.643	0.761
雑費Ⅰ		0.363	0.474	0.585	0.697
雑費Ⅱ		0.434	0.471	0.507	0.544

全国

(単位：円，%)

費目	世帯人員				
	1人	2人	3人	4人	5人
標準生計費(円)					
合計	117,540	175,850	201,950	228,050	254,160
食料費	26,280	36,630	46,030	55,440	64,850
住居関係費	46,400	49,330	45,330	41,330	37,340
被服・履物費	4,420	6,110	7,880	9,650	11,420
雑費Ⅰ	29,760	53,210	69,550	85,890	102,220
雑費Ⅱ	10,680	30,570	33,160	35,740	38,330
構成比(%)					
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
食料費	22.4	20.8	22.8	24.3	25.5
住居関係費	39.5	28.1	22.4	18.1	14.7
被服・履物費	3.8	3.5	3.9	4.2	4.5
雑費Ⅰ	25.3	30.3	34.4	37.7	40.2
雑費Ⅱ	9.1	17.4	16.4	15.7	15.1
生計費換算乗数					
食料費		0.501	0.629	0.758	0.886
住居関係費		0.948	0.871	0.794	0.717
被服・履物費		0.407	0.525	0.643	0.761
雑費Ⅰ		0.363	0.474	0.585	0.697
雑費Ⅱ		0.434	0.471	0.507	0.544

(注) 1. 世帯人員1人の欄は「全国消費者実態調査」(総務省)の勤労単身世帯のデータを基に算出されている。

2. 各費目と家計調査大分類項目との対応関係は次のとおりである。

食料費-----食料

住居関係費-----住居、光熱・水道、家具・家事用品

被服・履物費-----被服及び履物

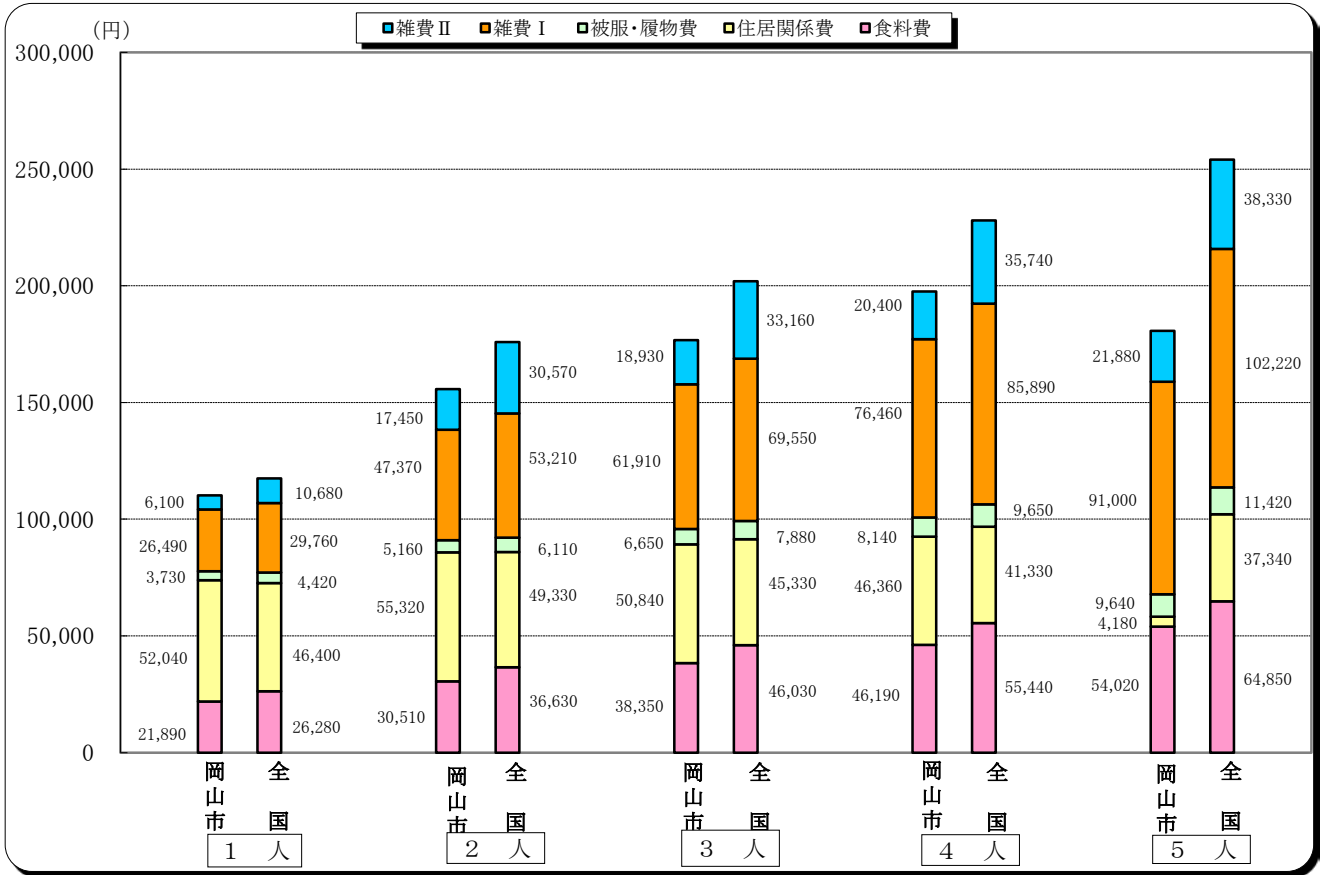
雑費Ⅰ-----保健医療、交通・通信、教育、教養娯楽

雑費Ⅱ-----その他の消費支出(諸雑費、こづかい、交際費、仕送り金)

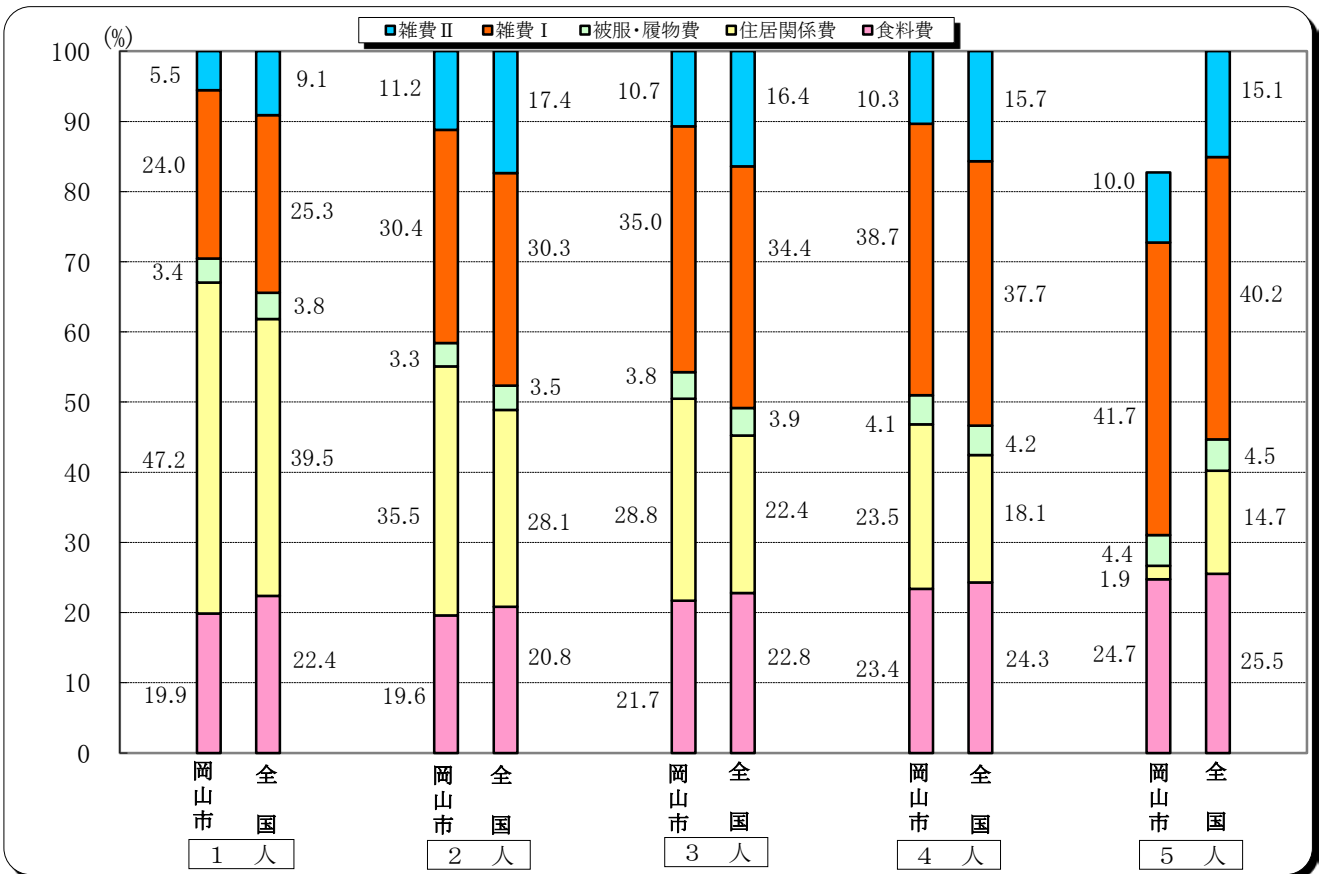
3. 構成比は、小数点以下四捨五入で算出のため、合計が100%とはならない場合がある。

資料出所：人事院、岡山県人事委員会

世帯人員別にみた標準生計費（岡山市×全国）



世帯人員別にみた標準生計費の構成比（岡山市×全国）



生活保護基準（岡山県内）（平成24年4月基準）

(1) モデル世帯（単身世帯主18歳、扶養家族なし、健康）

（単位：円）

	1級地-2（岡山市）		1級地-2（倉敷市）		2級地-2（玉野市）		3級地-1		3級地-2	
	冬季（11月～3月）	4月～10月	冬季（11月～3月）	4月～10月	冬季（11月～3月）	4月～10月	冬季（11月～3月）	4月～10月	冬季（11月～3月）	4月～10月
世帯あたり最低生活費	121,620	118,670	119,620	116,670	111,440	108,770	102,650	100,120	98,660	96,270
生活扶助	84,620	81,670	84,620	81,670	76,640	73,970	72,650	70,120	68,660	66,270
第1類	40,190	40,190	40,190	40,190	36,400	36,400	34,510	34,510	32,610	32,610
第2類	44,430	41,480	44,430	41,480	40,240	37,570	38,140	35,610	36,050	33,660
基準額	41,480	41,480	41,480	41,480	37,570	37,570	35,610	35,610	33,660	33,660
冬季加算（VI地）	2,950	-	2,950	-	2,670	-	2,530	-	2,390	-
住宅扶助（支給限度額）	37,000	37,000	35,000	35,000	34,800	34,800	30,000	30,000	30,000	30,000

(2) モデル世帯（標準3人世帯、世帯主33歳男性、妻29歳、子供4歳、健康）

（単位：円）

	1級地-2（岡山市）		1級地-2（倉敷市）		2級地-2（玉野市）		3級地-1		3級地-2	
	冬季（11月～3月）	4月～10月	冬季（11月～3月）	4月～10月	冬季（11月～3月）	4月～10月	冬季（11月～3月）	4月～10月	冬季（11月～3月）	4月～10月
世帯あたり最低生活費	215,530	210,970	213,530	208,970	197,680	193,550	185,260	181,350	177,840	174,140
生活扶助	157,530	152,970	157,530	152,970	142,680	138,550	135,260	131,350	127,840	124,140
第1類	102,080	102,080	102,080	102,080	92,450	92,450	87,650	87,650	82,840	82,840
第2類	55,450	50,890	55,450	50,890	50,230	46,100	47,610	43,700	45,000	41,300
基準額	50,890	50,890	50,890	50,890	46,100	46,100	43,700	43,700	41,300	41,300
冬季加算（VI地）	4,560	-	4,560	-	4,130	-	3,910	-	3,700	-
児童養育加算	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
住宅扶助（支給限度額）	48,000	48,000	46,000	46,000	45,000	45,000	40,000	40,000	40,000	40,000

(3) モデル世帯（夫婦2人世帯、世帯主35歳男性、妻30歳、子供9歳小学生・4歳、健康）

（単位：円）

	1級地-2（岡山市）		1級地-2（倉敷市）		2級地-2（玉野市）		3級地-1		3級地-2	
	冬季（11月～3月）	4月～10月	冬季（11月～3月）	4月～10月	冬季（11月～3月）	4月～10月	冬季（11月～3月）	4月～10月	冬季（11月～3月）	4月～10月
世帯あたり最低生活費	265,180	260,010	263,180	258,010	244,020	239,340	229,970	225,530	220,890	216,700
生活扶助	192,470	187,300	192,470	187,300	174,310	169,630	165,260	160,820	156,180	151,990
第1類	134,620	134,620	134,620	134,620	121,920	121,920	115,590	115,590	109,240	109,240
第2類	57,850	52,680	57,850	52,680	52,390	47,710	49,670	45,230	46,940	42,750
基準額	52,680	52,680	52,680	52,680	47,710	47,710	45,230	45,230	42,750	42,750
冬季加算（VI地）	5,170	-	5,170	-	4,680	-	4,440	-	4,190	-
児童養育加算	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
教育扶助	4,710	4,710	4,710	4,710	4,710	4,710	4,710	4,710	4,710	4,710
住宅扶助（支給限度額）	48,000	48,000	46,000	46,000	45,000	45,000	40,000	40,000	40,000	40,000

(4) モデル世帯（母子3人世帯、世帯主30歳女性、子供4歳・2歳、健康）

（単位：円）

	1級地-2（岡山市）		1級地-2（倉敷市）		2級地-2（玉野市）		3級地-1		3級地-2	
	冬季（11月～3月）	4月～10月	冬季（11月～3月）	4月～10月	冬季（11月～3月）	4月～10月	冬季（11月～3月）	4月～10月	冬季（11月～3月）	4月～10月
世帯あたり最低生活費	237,130	232,570	235,130	230,570	219,290	215,160	206,010	202,100	199,460	195,760
生活扶助	139,030	134,470	139,030	134,470	125,930	121,800	119,380	115,470	112,830	109,130
第1類	83,580	83,580	83,580	83,580	75,700	75,700	71,770	71,770	67,830	67,830
第2類	55,450	50,890	55,450	50,890	50,230	46,100	47,610	43,700	45,000	41,300
基準額	50,890	50,890	50,890	50,890	46,100	46,100	43,700	43,700	41,300	41,300
冬季加算（VI地）	4,560	-	4,560	-	4,130	-	3,910	-	3,700	-
母子加算（在宅）	25,100	25,100	25,100	25,100	23,360	23,360	21,630	21,630	21,630	21,630
児童養育加算	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
住宅扶助（支給限度額）	48,000	48,000	46,000	46,000	45,000	45,000	40,000	40,000	40,000	40,000

(5) モデル世帯（母子3人世帯、世帯主30歳女性、子供9歳小学生・4歳、健康）

（単位：円）

	1級地-2（岡山市）		1級地-2（倉敷市）		2級地-2（玉野市）		3級地-1		3級地-2	
	冬季（11月～3月）	4月～10月	冬季（11月～3月）	4月～10月	冬季（11月～3月）	4月～10月	冬季（11月～3月）	4月～10月	冬季（11月～3月）	4月～10月
世帯あたり最低生活費	249,420	244,860	247,420	242,860	230,390	226,260	216,520	212,610	209,370	205,670
生活扶助	151,610	147,050	151,610	147,050	137,320	133,190	130,180	126,270	123,030	119,330
第1類	96,160	96,160	96,160	96,160	87,090	87,090	82,570	82,570	78,030	78,030
第2類	55,450	50,890	55,450	50,890	50,230	46,100	47,610	43,700	45,000	41,300
基準額	50,890	50,890	50,890	50,890	46,100	46,100	43,700	43,700	41,300	41,300
冬季加算（VI地）	4,560	-	4,560	-	4,130	-	3,910	-	3,700	-
母子加算（在宅）	25,100	25,100	25,100	25,100	23,360	23,360	21,630	21,630	21,630	21,630
児童養育加算	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
教育扶助	4,710	4,710	4,710	4,710	4,710	4,710	4,710	4,710	4,710	4,710
住宅扶助（支給限度額）	48,000	48,000	46,000	46,000	45,000	45,000	40,000	40,000	40,000	40,000

1級地-2（岡山市、倉敷市）、2級地-2（玉野市）

3級地-1（津山市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、浅口市、都窪郡早島町、浅口郡里庄町、小田郡矢掛町）

3級地-2（真庭市、美作市、和気郡和気町、真庭郡新庄村、苫田郡鏡野町、勝田郡勝央町・奈義町、英田郡西粟倉村、久米郡久米南町・美咲町、加賀郡吉備中央町）

(注)住宅扶助は、家賃・間代・地代等に対する実費支給であり、岡山県内特別基準支給限度額を全て支給されるわけではなく、持家には支給されない。

岡山県保健福祉部障害福祉課へ問合せの上、試算（平成24年4月基準）。

岡山県最低賃金での可処分所得試算

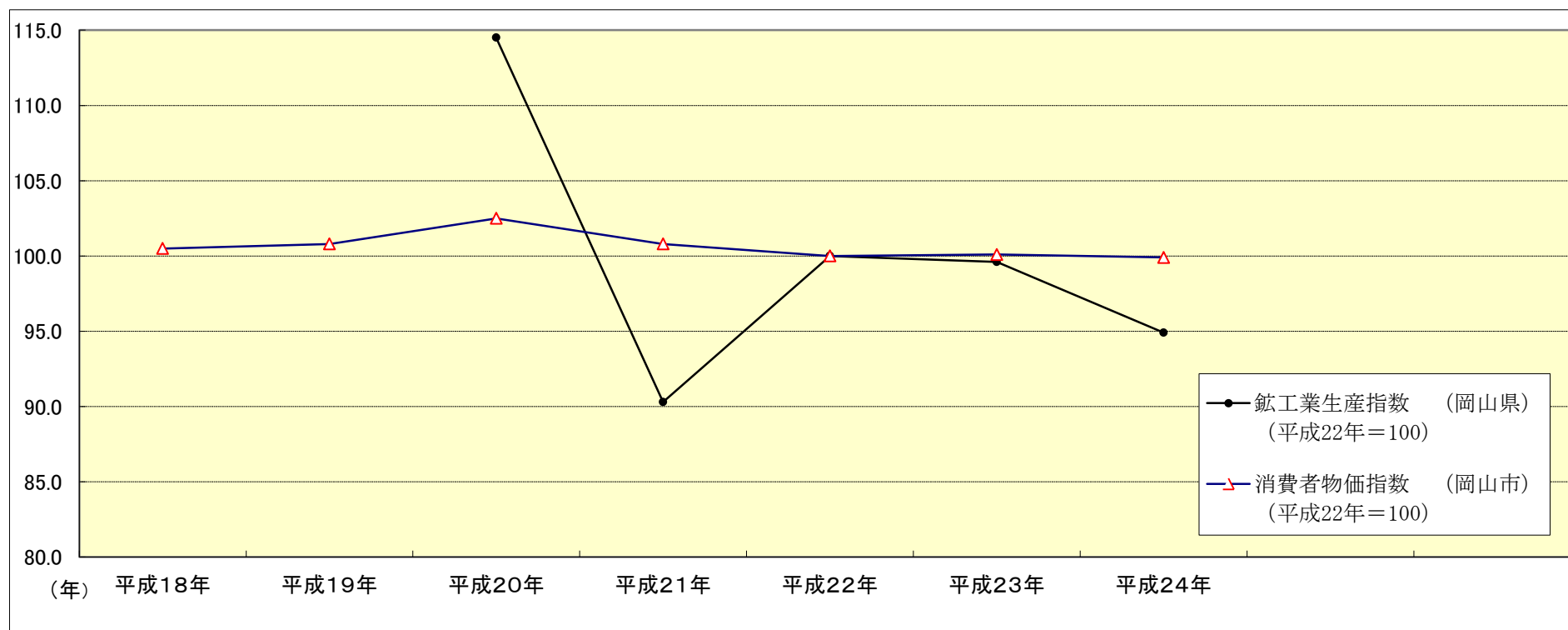
モデル労働者（18歳単身世帯主、扶養家族なし、時間給「691円」、賞与なし）

内 訳		月間25日労働者(1日8時間労働)		月間21日労働者(1日8時間労働)		1年変形週40時間労働者	
		6月	7月～5月	6月	7月～5月	6月	7月～5月
月 間 労 働 日 数		25 日		21 日		1年変形週平均40時間労働	
月 間 労 働 時 間 数		200 時間		168 時間		173 時間	
賃 金 月 額		138,200 円		116,088 円		119,543 円	
賃 金 年 額 (月 額 1 2 箇 月 分)		1,658,400 円		1,393,056 円		1,434,516 円	
月 額 社 会 保 険 料 額	健 康 保 険 料 額	7,142.6 円		5,935.4 円		5,935.4 円	
	厚 生 年 金 保 険 料 額	11,903.86 円		9,891.94 円		9,891.94 円	
	雇 用 保 険 料 額	691 円		580.44 円		597.72 円	
	合 計	19,737 円		16,408 円		16,425 円	
社会保険料控除後給与額(月額)		118,463 円		99,680 円		103,118 円	
所 得 税 (月 額 徴 収 額)		1,610 円		710 円		910 円	
住 民 税 (月 別 徴 収 額)		3,800 円	3,700 円	2,600 円	1,900 円	2,300 円	2,300 円
公租公課控除後給与額(月額)		113,053 円	113,153 円	96,370 円	97,070 円	99,908 円	99,908 円

- 注) ① 岡山県最低賃金 平成24年10月24日改正分の給与が1年間継続したとして、年間給与額を計算。
 ② 社会保険料 平成24年9月改正分
 ③ 所得税 平成24年1月以降分(現在の賃金月額から給与所得の源泉徴収月額を算出。)
 ④ 住民税 平成24年6月適用分(前年中における賃金条件・社会保険料等が現在と同一条件であると仮定して算出しており、前年中賃金の多寡で実際は異なる。
 ※前年中の所得額より、所得控除は社会保険料控除のみとして、現在の徴収額を算出。岡山県おかやま森づくり県民税を上乗せ。

資料出所 : 日本年金機構及び国税庁のホームページで確認して、岡山県県民生活部市町村課へ問合せの上、試算。

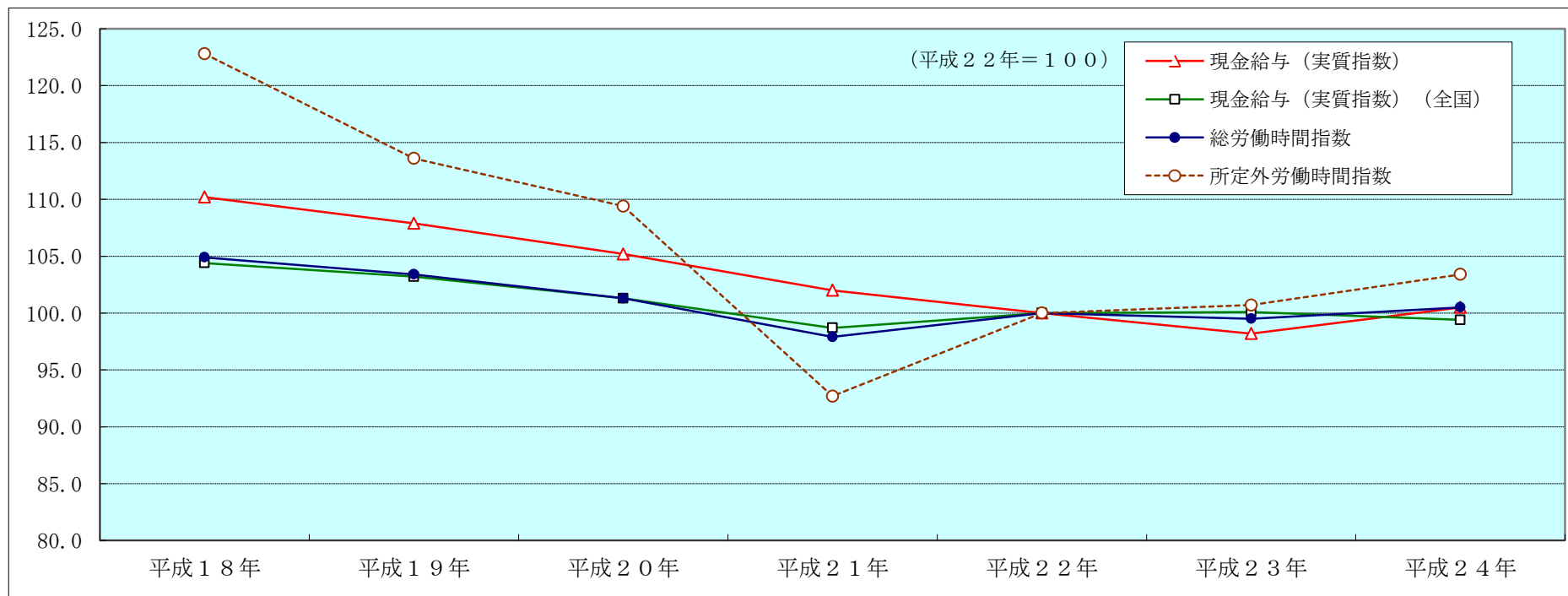
鉱工業生産指数及び消費者物価指数の推移（岡山）



	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
鉱工業生産指数（岡山県） （平成22年＝100）			114.5	90.3	100.0	99.6	94.9
消費者物価指数（岡山市） （平成22年＝100）	100.5	100.8	102.5	100.8	100.0	100.1	99.9

資料出所：岡山県総合政策局統計調査課（岡山県ホームページ）

賃金指数及び労働時間指数の推移（5人以上）（岡山）

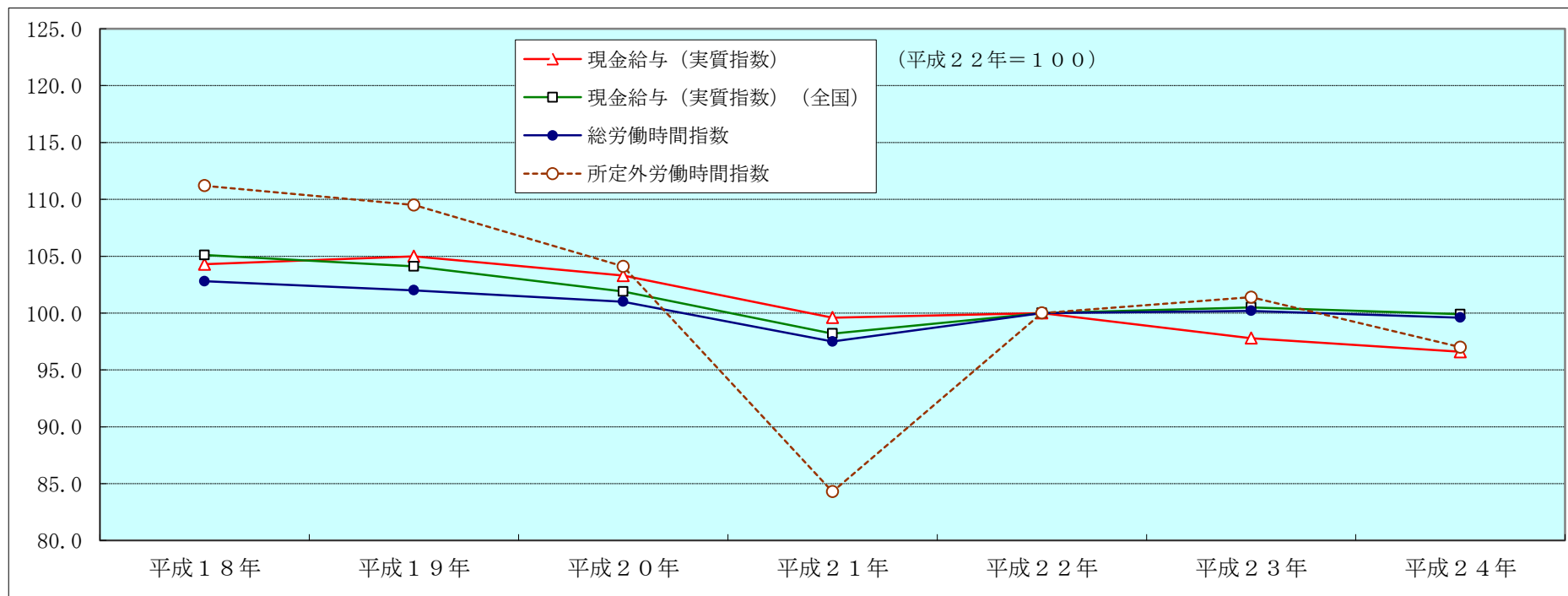


区分	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
現金給与(名目指数)	111.0	109.0	108.3	103.0	100.0	98.3	100.4
現金給与(実質指数)	110.2	107.9	105.2	102.0	100.0	98.2	100.5
現金給与(名目指数)(全国)	105.0	103.9	103.6	99.5	100.0	99.8	99.1
現金給与(実質指数)(全国)	104.4	103.2	101.3	98.7	100.0	100.1	99.4
総労働時間指数	104.9	103.4	101.3	97.9	100.0	99.5	100.5
所定外労働時間指数	122.8	113.6	109.4	92.7	100.0	100.7	103.4

(注) 実質賃金指数 = 名目賃金指数 ÷ 消費者物価指数(持ち家帰属家賃を除く) × 100

資料出所： 岡山県総合政策局統計調査課「毎月勤労統計調査年報（岡山県の賃金・労働時間・雇用の動き）」

賃金指数及び労働時間指数の推移（30人以上）（岡山）



区分	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
現金給与(名目指数)	105.0	106.0	106.3	100.6	100.0	97.9	96.5
現金給与(実質指数)	104.3	105.0	103.3	99.6	100.0	97.8	96.6
現金給与(名目指数)(全国)	105.7	104.8	104.2	99.0	100.0	100.2	99.6
現金給与(実質指数)(全国)	105.1	104.1	101.9	98.2	100.0	100.5	99.9
総労働時間指数	102.8	102.0	101.0	97.5	100.0	100.2	99.6
所定外労働時間指数	111.2	109.5	104.1	84.3	100.0	101.4	97.0

(注) 実質賃金指数 = 名目賃金指数 ÷ 消費者物価指数(持ち家帰属家賃を除く) × 100

資料出所： 岡山県総合政策局統計調査課「毎月勤労統計調査年報（岡山県の賃金・労働時間・雇用の動き）」